

2. 第14回防衛問題セミナー開催

テーマ：ソマリア沖・アデン湾の現状と海賊対処活動

場 所：清水テルサ（静岡市清水区）

開催日：平成22年6月23日（水）

講 師：自衛隊神奈川地方協力本部長 五島浩司 1等海佐
社団法人日本船主協会 半田収 常務理事



会場の様子



半田常務理事



深山局長



五島1等海佐

当局は、6月23日（水）、静岡市清水区の清水テルサにおいて「ソマリア沖・アデン湾の現状と海賊対処活動」をテーマに第14回防衛問題セミナーを開催しました。今回は、第13回に引き続き、平成21年3月から約4か月間、第1次派遣海賊対処水上部隊の指揮官として活躍された五島1等海佐（現自衛隊神奈川地方協力本部長）及び、その海域に多くの客船や商船を運航している海運業界から日本船主協会の半田常務理事を迎え、ソマリア沖・アデン湾の海賊事案の現状と海上自衛隊等が行っている海賊対処活動について広く市民の皆様に理解してもらうことを目的に開催し、約140人の参加がありました。

講演後、参加者からは、「ソマリア沖・アデン湾の現状を知ることができて良かった。」「海賊対処活動の現場での自衛隊員の活躍ぶりや苦勞についてよく理解できた。」などの声が多数寄せられました。



また、講演中、我が国が行っている海賊対処活動の期限が平成22年7月23日であることから、半田常務理事からは、海賊事案が沈静化するまで護衛活動を継続する必要があるとの考えが示されました。この件に関しては、セミナー後の7月16日、閣議決定により、1年間延長することとされ、引き続き、ソマリア沖・アデン湾における海上輸送の安全確保に貢献することとなりました。

なお、次回の防衛問題セミナーは、平成22年11月頃に山梨県甲府市において「ハイチにおけるPKO活動」等をテーマに開催する予定です。詳細は後日、ホームページ等でお知らせします。